

東武實錄

四

自寛永三丙寅年
至同年九月七日

175
1887
4



リ 5
號 1887
卷 4



武實錄卷之十三

寬永三丙寅年自正月

正月

一朔日 將軍家西丸ニ 渡御アリ於御
 座間 御對顔御上壇御着座御太刀大
 澤兵部大輔基宿是ヲ披露ス御引渡御
 雜莫御吸物出御三献ノ御祝例ノ如ク
 莫畢テ 將軍家 還御以後列候以下
 西丸ニ登テ 公ニ謁ニ歳且ヲ賀ス
 一六日 新王ノ賀儀トシテ 禁裡ニ御太

刀御馬ヲ獻セラル大澤侍從基重右亮
御使トテ京都赴ク

為手姫ノ乳母居侍後之古河沙房
一御使トテ一之...

正月六日 中津

中津及

西傳奏ハ遣サレ、御書

為手南ノ御使古河一御使一之御使
行方居侍後之進也

正月六日 中津

中津及

一 松ノ丸御方ヨリ年始慶賀トシ小袖二

重ヲ獻スルニ依テ 御内書ヲ賜ル

一 十二日 石川勘助正重卒ス

一 十五日 浅野但馬守長晟鷹ノ鶴ヲ獻

ス奉書ヲ賜フ

一 是日 宗對馬守侍從義成朝鮮ノ鶴并

領國ノ卿ヲ獻ス依テ奉書ヲ賜フ

一 是日 松平土佐守忠義縹珠十卷ヲ献

ス奉書ヲ賜フ

一 十八日 能勢撰津守賴次卒六十五歳

一 廿一日 永井豊前守直定上總国ニ於

テ米地三千三百石加給セラルニ領統

テ四千三百石ヲ領ス

二月

一 廿七日 公紀伊中納言賴宣郷ノ亭ニ

渡御アリ御相伴水戸宰相賴房郷藤堂

和泉守高虎猿樂 上覽アリ

一 廿八日 猪子内匠一時卒八十五歳

一 項年 巢鷹ノ丁猿リ成ニ依テ被

仰出ノ赴

竟

一 仲粟齊見守ニシテ其ノ事ニ事ニ及

シ彼ノ人能ク其ノ事ヲ果行フニ善クシテ

是レニシテ其ノ事ニ及

消新第見守ニシテ其ノ事ニ及

仲粟齊見守ニシテ其ノ事ニ及

一 仲粟齊見守ニシテ其ノ事ニ及

一 御内書ヲ賜ル
 一 七日 將軍家紀伊黃門賴宣卿ノ家ニ
 來臨御相伴水戸宰相賴房卿
 一 八日 宗對馬守義成高廉鷹十五聯ヲ
 獻スルニ依テ 御内書ヲ賜ル
 一 十一日 朝比奈勘右千門良恭ト後左近

三月廿七日
 三月廿八日
 三月廿九日
 三月三十日

一 朔日 内藤志摩守忠重ニ平河口御門
 前本多出羽守カ屋敷ヲ賜ル
 一 六日 加賀宰相利常嫁娶ノ御禮トメ
 綿五百把使者ヲ以テ獻ス依テ
 御内書ヲ賜ル
 一 七日 將軍家紀伊黃門賴宣卿ノ家ニ
 來臨御相伴水戸宰相賴房卿
 一 八日 宗對馬守義成高廉鷹十五聯ヲ
 獻スルニ依テ 御内書ヲ賜ル
 一 十一日 朝比奈勘右千門良恭ト後左近

一 小十人組ノ頭ト成米地大加賜セラレ

同ノ組頭ト成書院

一 是日 古田吉左齋門重利始テ

將軍家ニ謁ス 是日 先伯父古田大膳

幕下ニ奉仕セ 大酒井忠生ノ世願ヲ以テ是

依テ今日ノ知召ノ重治幸存生ノ願ヲ以テ是

一 十五日 堀七郎直時 丹後守直始テ

一 西君ニ謁ス

一 十九日 久世三左門廣宣 始テ三卒

一 又六十五歳其子三四郎廣益父廣直力

遺領米地五千石賜テ

一 是月 酒井讚岐守忠勝ニ武州忍ニ於

テ米地二万石加賜セラレ 旧領米テ五

万石ヲ領ス

四月

一 五日 入江源藏春重卒五十歳

一 六日 参議利常鷹ノ鶴ヲ献ス 依テ

御内書ヲ賜フ

一 十一日 内藤紀伊守信正 横城代大坂病

病危急ノ由 台聽ニ達シ 御心許ナク

一 思召サレ由奉書ヲ信正ニ賜ル
一 十二日 神尾内記元勝後備為御使

横刈大坂ニ赴ク

一 是日 井伊掃部頭直孝病氣快氣ニ依

テ一種二荷ヲ獻スル勞快氣悦ビ

思召ノ由奉書ヲ賜ル

一 是月 内藤紀伊守信正横刈大坂ニ於

テ卒五十九歳也

閏四月

一 五日 細川三存袴二具段子ヲ獻ス依

テ奉書ヲ賜フ

一 七日 駿河中納言忠長郷二蒔二種ヲ

獻ス去ル朔日駿府ニ到着旨使者ヲ以

テ申上ルニ依テ 御内書ヲ賜フ

一 十四日 薩摩宰相家久帰国ノ御禮ト

シ使者ヲ以沉香五行燒物色々ヲ獻ス

依テ御内書ヲ賜フ

一 十五日 尾張中納言義直郷奈良晒雨

樽鮎ノ鮎二桶ヲ獻ス 御内書ヲ賜ル

一 廿七日 本多中務大輔忠刻處勞再發

一 由 上 閣 二 達 三 每 御 心 許 思 召 八 由
奉 書 ヲ 賜 ル

一 是 日 井 伊 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ
獻 ス 依 テ 奉 書 ヲ 賜 ル

一 全 細 川 三 存 領 國 人 素 麩 五 箱 ヲ 獻 ス
奉 書 ヲ 賜 ル

一 仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

一 小 島 實 一 介 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ 獻 ス
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

一 男 女 抱 之 者 年 々 事 事 一 限 十 七 年 十 七 日 以
上 一 限 十 七 年 十 七 日 以 上 一 限 十 七 年 十 七 日 以 上

一 一 人 馬 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ 獻 ス
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

一 一 人 馬 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ 獻 ス
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

一 一 人 馬 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ 獻 ス
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

一 一 人 馬 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ 獻 ス
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

一 一 人 馬 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ 獻 ス
仰 出 廿 七 日 御 書 付 侍 從 直 孝 領 國 人 粟 一 箱 ヲ

石うおる此有... 河柳堂の件

寛永... 五月

一 是月 將軍家日光 御登山

五月

一 三日 鍋島信濃守勝茂半弓二張掛硯

二 京二條ノ御庭ニ植ラルルヘキ蘊鉄一

本ヲ獻スルニ依テ奉書ヲ賜ル

一 五日 浅野但馬守長晟系歎十掛御袂

箱十御氣物ヲ獻是ニ此度 御上浴ニ

依テ也奉書ヲ賜ル

一 七日 本多中務大浦忠刻濃守播及

姫路ニ於テ卒ス三十一歳依之

上使トメ太田宋女正資宗神尾宮内少

輔守勝姫路ニ赴ク松平半四郎重則是

内膳正ニ任シ忠刻内室公ノ御娘後御

迎トメ命ヲ奉テ姫路ニ赴ク

一 十七日 織田兵部少輔信良左近衛卒

四十三歳其子百助信昌後兵部父信良

力家督二万石領

一 廿二日 藤堂和泉守高虎漆物帷子二

百端ヲ獻久奉書ヲ賜テ高虎カ外勞ヲ
向セ玉フ

一廿五日 永井佐左衛門盛安始テ
將軍家ニ謁ス

一廿七日 今度 御上浴ニ依テ被
仰出御條目

降

一今度沙汰ノ所ニテ服道長ノ色家ノ海軍
ノ事

一喧嘩見舞火事ニテ卯ノ行始ニ後為業

一昔次他以ノ事ノ事
一今度中ノ人ニテ一切ノ事

一今度中ノ人ニテ一切ノ事
一今度中ノ人ニテ一切ノ事

一今度中ノ人ニテ一切ノ事
一今度中ノ人ニテ一切ノ事

一今度中ノ人ニテ一切ノ事
一今度中ノ人ニテ一切ノ事

一今度中ノ人ニテ一切ノ事
一今度中ノ人ニテ一切ノ事

候の及ぬ事申す候へども、
も丁越す有也

一 伊呂の所伝藤を〜
りある料

一 法道具入更あ〜
小の所伝を〜
山後〜

一 櫻〜竹あ〜香露魚〜
〜伊呂の所伝を〜

石心若くは有車〜
候に候に候に

或は流冠の者とは自然に
法〜人見の〜用〜
之料〜信〜料此印〜
あ有る也

宮人水と事とあり候也

是

一 服道可傳行事と料浪を〜

一 定規口偏ち〜等〜知上事

出〜

一 路中〜座〜馬〜

一 天氣能ハ何騎馬ノ中。兩具ヲモテ考メ
ニ科 浪子ニモ收

^{イニ支} 何ニモ支 納度ノ事

一 沙高ノ不女 沙高ノ所ニ在ル馬ノ所ニ在ル馬
リトモ事ニ科 浪子ニモ收

一 沖信ノ所 騎馬ノ中。口角ノ事ニモ
見ル者ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 沖信ノ所 騎馬ノ中。口角ノ事ニモ
見ル者ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 何ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 何ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 馬ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 何ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 何ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

寛永二年 五月廿七日

免

一 何ノ事ニモ收 一 科 浪子
ニモ收

一 海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の地味に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

一 海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

海軍の海軍大臣の職務に關する事

一	七百石	廿八人	一	七百五十石	二十一人
一	八百石	廿二人	一	八百五十石	廿三人
一	九百石	廿三人	一	九百五十石	廿四人
一	一千石	廿四人	一	一千百石	廿五人
一	一千二百石	廿六人	一	一千三百石	廿七人
一	一千四百石	廿八人	一	一千五百石	廿九人
一	一千六百石	卅一人	一	一千七百石	卅一人
一	一千八百石	卅二人	一	一千九百石	卅三人
一	二千石	卅四人	一	二千百石	卅五人
一	二千二百石	卅六人	一	二千三百石	卅六人

一	二千四百石	卅八人	一	二千五百石	卅九人
一	二千六百石	四十人	一	二千七百石	四十一人
一	二千八百石	四十二人	一	二千九百石	四十三人
一	三千石	四十五人	一	三千五百石	五十二人
一	四千石	六十一人	一	四千五百石	六十七人
一	五千石	七十五人	一	壹万石	百五十人
一	二万石	三百人	一	三万石	四百十人

右之通御扶持方被下之者也

今度御上浴ニ依テ江戸ヨリ京都ニ
 寛永三年寅五月日

至、以忠奉之面々宿割

二万三百石 酒井阿波守 十四万二千石 土井大炊

一万二千石 井上主計頭 八万七千石 永井信濃守

一万二千石 青尖藏補 二万二千石 高乃攝津守

二万二千石 榎齋大夫 一万二千石 板倉内膳正

一万五千石 秋元但馬守 二千石 阿部修理亮

部屋住 井上河内守 高力左大夫

御小性衆

千五百石 本多美濃守 千五百石 酒井下総守

二千石 松平伊賀守 二千石 太田宋笠

千五百石 鳥居讚岐守 三千石 三浦山城守

二万石 廣民部少輔 千石 松平兵衛頭

千五百石 戸田次郎守 千石 本多主馬介

千石 戸田次郎九郎 千五百石 三井市藏

千石 八木勘十郎 五百石 高田庄五郎

千石 山崎權一郎 八百石 戸田藤五郎

五百石 大塚小善次 千石 大澤右京亮

一万三千石 京極主膳正 三千石 有馬出雲守

三千三百石 長井長次郎 嶋田兵四郎

赤川喜内

御目付衆

四千五百石

加久米少輔

二千五百石

永井監物

二千六百石

渡辺半四郎

二千百石

牧野清兵衛

千七百石

豊嶋主膳正

御使番衆

二千百石

清水權之助

二千百石

天野佐左衛

千五百石

長谷部兵衛

千四百石

今村傳四郎

千八十石

石川三右衛門

千石

永田勝左衛門

六百石

谷井庄左衛門

御步行頭衆

組三十人宛

四千五十石

岡部兵庫

四千石

長所久三郎

二千石

小栗亦市郎

千五百石

伊澤隼人正

千五百石

神原左衛門

御醫師衆

七百石

道三法印

民部太輔

三百石

安栖法印

五百石

永喜

御右筆頭

四百六十石

松雲

八百石

建部傳内

二百石

志賀半兵衛

三百石

川副兵衛

百五十石

鈴木權兵衛

百五十石

久保喜平門

部屋住

百石

星谷太郎兵衛

御膳奉行

同心五人宛

五百石

土屋忠次郎

五百石

朝倉仁右衛門

將軍様御使

駿河中納言殿使

尾張中納言殿使

紀伊中納言殿使

水戸宰相殿使

御臺所衆

七百七十石

神谷縫殿將門

二百石

神谷又五郎

万八

堀谷弥九郎

神尾五女

御臺所衆十九人

御下男二拾二人

二百石

倉橋庄兵衛

御賄衆廿人

六尺十五人

四百五十石

矢部掃部

同心十人

御小納戸衆

三千五百石

杉浦市左衛門

四百石

落合小平次

四百石

上田善次郎

四百石

高木甚兵衛

三百五十石

山田七右衛門

五百五十石

田中市郎右衛門

四百五十石

新見弥五郎

三百七十石

横山藤右衛門

二百石

逸見七兵衛

二百石

松永源藏

二百石

杉浦十兵衛

八百石

天野小三郎

四百石

筒井内藏

四百石

石川左衛門

四百石

丹次郎兵衛

二百石

杉浦長藏

二百石

天野新五郎

百石

関兵五郎

御腰物方衆

四百石

松波梶平

五百石

野山新五郎

三百石

三橋善五郎

三百石

平賀三五郎

御書院番井上主計頭組

二千石

高木善次郎

四十石

津田平左衛門

三千石

栗山内匠

千九百石

赤伊豆守

千五百石

森左兵衛

千石

松平日向守

千石

松倉左衛門

千石

前田左入

千石

戸田掃部

五百石

吉田左門

五百石

三宅小之助

五百石

八橋與吉

五百石

金森左兵衛

三百石

小出甚太郎

三百石

鳴田久太郎

三百石

櫻井庄之助

三百石

井原忠右衛門

三百石

森次郎兵衛

二百石

本多藤五郎

御小姓組井上主計頭組

二千石	安藤岩門	十五石	土屋權十郎
千石	西尾藤兵衛	千石	真津彦八郎
千五百石	伊丹藏人	千石	服部與十郎
七百石	仁賀保主馬	五百石	村瀬清藏
五百石	岡部庄九郎	九百石	高木善七郎
三百石	三宅宗兵衛	三百石	岡部惣六郎
三百石	多賀外記	三百石	川勝主膳
三百石	井上次兵衛	二百五十石	酒井作兵衛
二百石	本多次郎重門	二百石	川窪仁兵衛
百五十石	井田新八郎		

小十人組井上主計頭組

七百石	大森半七郎	五百石	小栗平吉
五百石	石谷十藏	二百石	石野傳八郎
二百石	宗津野九郎齋	百五十石	小西助十郎
百石	須藤孫四郎		美濃部權兵衛
二千二百石	御書院番永井信濃守組		
二千石	天方主馬	三千石	村上源今
千石	赤井豊後守	千四百石	柘植三四郎
千石	赤井玄瀧	千石	石丸勝三郎
千石	伏屋新介	千石	流部民部

部屋住

千石	村越七郎兵衛	千石	曾我喜太郎
千四百石	猪子次右門	千石	三好助九郎
九百石	水野因幡守	五百石	荒川右馬介
五百石	稻生次左衛門	五百石	古田平九郎
三百石	長崎弥左衛門	三百石	柘植左千門
三百石	設樂三左門	五百石	中坊長兵衛
五百石	赤井五郎作		
御小性組永井信濃守組			
四千三十石	永井傳十郎	二千石	木造三良左門
千七百石	鷓殿新七郎	千五百石	岩瀬善左門

千拾石	松平筑後守	千石	鈴木久右門
五百石	猶村孫七郎	五百石	長田兵吉
五百石	中山内記	三百石	倉橋宗三郎
二百石	戸田七内	二百石	前波孫九郎
二百石	永井空之助	二百石	猶村孫九郎
三百石	岩瀬市兵衛	二百石	長崎久太郎
二百石	小林長五郎		
小十人組永井信濃守組			
五百五十石	長坂露九郎	四百石	小林権平
三百石	加藤市太郎	二百石	山本四兵衛

百廿石

曲淵清藏

百廿石

曲淵源次郎

百石

横山源次

百石

山本辰之助

百石

宋原七良齋

御書院番青山大藏少輔組

三千石

大保左門

二千石

庄田左齋門

二千石

山田彦八郎

二千石

酒井作右門

二千石

市橋三郎

千七百石

馬場三郎右門

千石

三宅半七郎

千石

松田善右門

千石

朽木與五郎

千石

伊丹因幡

千石

堀織部

千石

加藤左内

八百六十石

大久保牛之助

八百石

長野次郎齋

七百石

東条伊兵衛

五百石

井左馬介

二百七十石

松平甚三郎

三百石

大久保善右門

千石

松平佐十郎

三百石

佐藤七兵衛

御小姓組青山大藏少輔組

二千石

永見新右門

千五百石

股部 仲

千石

加藤源太郎

千石

内藤善右門

千石

青山作十郎

二百石

久貝八兵衛

五百石

富喜莫郎

六百石

水野小十郎

六百石

扇半平

六百石

岡田内記

五百石
三百石
五百石
三百石
二百石

内藤市之丞 三百石
後藤清三郎 五百石
中川牛之助 四百石
大保彦十郎 三百石
水野金十郎 二百石

小栗亦兵衛
北条新藏
細井喜三郎
水野左十郎
若林兵九郎

二百石

握金平

美濃部兵衛

御書院番松平右衛門大夫組

千石
二千石
二千石
千石
千石
千石
千石
七百石

松平志摩守 二千石
野色頼母 二千石
石尾七兵衛 千五百石
花房右馬介 千石
三浦縫殿少 千石
奥田治右門 千石
牧野主水正 八百石
津金助之進 五百石

川口久助
水野太郎作
神保市守門
本多丹後守
川口茂左門
堀右衛門
大久保源三郎
蜷川次郎左門

五百石

川勝太郎左衛門

五百石

益房助右衛門

五百石

星合米女

四百石

加藤庄兵衛

二百石

中山左千門

二百石

高木主膳

二百石

小倉十兵衛

御小性組松平右衛門大夫組

二千石

水野清宗

千二百石

山上又七郎

千石

松平備前守

千石

松平隼人正

千石

甲斐左衛門

千石

早部權九郎

千石

榊原隼之介

七百石

西尾小左門

五百石

内藤六十郎

五百石

渡辺左千門

三百石

戸田半三郎

三百石

坪内半三郎

三百石

黒川與右衛門

三百石

富永甚三郎

三百石

年禮方五郎

二百五十石

貴志助兵衛

二百石

榊原秀九郎

二百石

小栗權兵衛

二百石

安藤市郎兵衛

三百石

池田佐介

三百石

水野九右衛門

三百石

榊原兵左衛門

小十人組松平右衛門大夫組

五百五十石

山下弥兵衛

三百二十石

伴作平

二百石

山張山三郎

百石

星合伊右門

百石

音木彦之丞

百五十石

木村彦八郎

百石

富永孫郎

魚田權左門

御書院番板倉内膳正組

三千石

柴田筑後守

四千石

沼兵右衛門

三千石

小堀元郎無齋

三千石

近藤登之介

二千石

内藤掃部

三千石

能勢治左門

千石

岡部大和守

千石

鳥四郎左門

千五百石

能勢十郎

千石

能勢物右門

五百五十石

小栗仁右衛門

四百石

堀田助左門

千石

近藤勘右門

三百石

鈴木權之助

五百石

別所主水

五百石

堀豐之助守

三百石

中川左平太

二百石

音木亦郎

五百石

松倉甚共齋

五百石

大嶋瀨之齋

千石

蔭田数馬

御小性組板倉内膳正組

千石

牧野織部

千石

村越清政郎

九百石

鈴木友之助

六百石

永田權八郎

四百石

彦坂平六郎

三百石

石丸權六郎

三百石

本多八十郎

三百石

井出甚之介

四百石

小寺左馬介

二百石

牧野六之齋

二百石

伊藤助郎

二百石

丸山作之齋

二百石 永田三郎 二百石

五百石 横田内匠

小十人組板倉内膳正組

四百石 内藤左七郎 三百石

三百石 青木左衛門 二百石

二百石 松野勘平 百五十石

百石 西尾喜右衛門 百石

百石 内田勘右衛門

御書院番秋元但馬守組

千石 内藤市正 二千石

浅岡權左衛門

中根喜藏

鈴木兵左衛門

鈴木三郎九郎

木喜右衛門

牧野傳藏

千石 一尾次洛守 千石

千石 佐木權兵衛 千石

千石 別所左卫門 千石

千石 新庄内匠 千五百石

八百石 日根野長齋 七百石

五百石 佐三郎左衛門 千石

五百石 池田權之助 五百石

三百石 佐間左衛門 二百石

二百石 溝口五郎左衛門 二百石

御小姓組秋元但馬守組

妻木彦右衛門

下曾根三郎

真田長齋

遠山藤四郎

兼松亦四郎

三浦權六郎

土方久兵衛

日根野外記

木造七左衛門

千五百石

村上三十郎

七百石

駒木根長

五百石

酒井内記

五百石

成瀬吉平

五百石

山岡與右門

五百石

長谷川右門

五百石

服部三右門

五百石

山岡新太郎

五百石

諏方隼人

二百石

和田庄之助

二百石

近藤庄之助

二百石

門奈宗兵衛

小十人組秋元但馬守組

二百石

外山忠三郎

二百石

本目權十郎

二百石

青木五郎

百五十石

神保孫兵衛

百五十石

曲瀨十左衛門

百石

小島孫七郎

百石

建部八右門

百石

廣戸半九衛門

百石

内藤源兵衛

御鎮奉行衆

千石

大保彦右衛門

千石

若林和泉

三千百石

佐藤勘右門

千五百石

土方宇右門

千石

妻木喜右門

七百石

設樂市左門

二百石

菅沼三五郎

五百石

青木其九門

玉樂奉行衆

五百石

井上外記

五百石

田村四郎

御幕奉行衆

二百石

加藤久大夫 同心二十人

岸長左衛門

御数奇屋坊主

三百石

周濟

百五十石

笑雲

百五十石

笑仁

百石

宗丹

百石

宗傳

宗彦

御土圭坊主

文彦

御数奇屋坊主 百七人

同 水汲 六人

五百石

福阿弥

友阿弥

御廣間坊主

二十人

六尺

二人

寄合衆

三千石

神尾刑部少輔

千五百石

大岡兵藏

千五百石

加藤伊織

同心二十人

千五百石

岡部主水

千五百石

朝繁孫太郎

千石

池田圖書

千石

肥田主水

四百五十石

大河内平十郎

三千五百石

渡辺吉右衛門

二千石

瀧川左内

五百石

小幡勘兵衛

五百石

赤川庄九郎

本多百石

和田五助

御勘定衆

六百石

大友保右衛門

五百石

武藤理兵衛

二百石

下嶋市兵衛

二百石

杉田見郎兵衛

百石

井出十三郎

百石

能勢勘右衛門

御既方

八百石

諏訪部惣右衛門

二百石

諏訪部源次郎

三百石

東嶋孫六郎

下目付衆

二百石

芝村左源次

百五十石

實方五平次

百五十石

齋藤勘右衛門

百五十石

齋藤次右衛門

御弓頭

二千五百石

内藤外記

内藤虎之助

御持弓

歩同心五十人

三千石

久永漁多藏

久永半兵衛

与力二十騎同心廿人

二千石余

安部四良郎

与力二十騎歩同心廿人

千石

太田善大夫

与力十騎歩同心十人

五百石

布施孫兵衛

与力十騎歩同心二十人

御鉄炮頭

三千三百石

高木九兵衛

御持筒歩同心五十人

五千石

横田甚右門

三百石

横田三郎兵衛

五千石

久世三四郎

与力十騎歩同心五十人

二千石

永井甚右門

五百石

永井清左門

六千石

坪内惣兵衛

歩同心五十人

坪内喜太郎

二千石

加藤喜助

歩同心五十人

千五百石

山田十太夫

与力十騎歩同心三十人

三千石

井上左衛門

与力十騎歩同心三十人

二千石

島田九京

与力十騎歩同心三十人

青山大藏少輔御預鉄炮

歩同心百人

五百石

浅井半兵衛

御鳥見衆

佐藤傳次

澤九郎兵衛

佐藤清兵衛

沢長左門

尾崎新三郎

大平角分

多田庄左門

樋口五郎左門

渡辺孫左門

飯田孫十郎

東田孫六郎

水野半兵衛

林半左門

田沢庄兵衛

福田藤左門

若林金十郎

一 廿八日

公御上洛トノ

江戸御首途時

二 途中ノ御機嫌ヲ窺ヒ奉リ江戸ニ注

進スヘキノ由 將軍家ノ釣命ヲ奉テ

三 浦志广守正次 公ニ供奉シ京師ニ

到リ江戸ニ帰テ御勇健ニ御入洛ノ旨
言上ス

道中御旅館ノ処ヨリ絶座脚ヲ以テ御機嫌能ク旨毎日
江戸ニ注進

東武實錄卷之十四

寛永三丙寅年 至六月

六月

一廿日 公御入浴

一是日 公御入浴 御機嫌ヲ窺ルヘキ夕

ノ 將軍家ヨリ 川勝信濃守御使トメ

京都ニ至ル 信濃守ヲ 公ノ御前ニ召

ノ 謁ス時ニ 御書ヲ 將軍家ハ進

ラ

考ノ所入也ヨリ及川勝信濃守ノ事

淡路島ノ事ニ關シテ御機嫌ノ事ニ關シテ
御書ノ事ニ關シテ御機嫌ノ事ニ關シテ
御書ノ事ニ關シテ御機嫌ノ事ニ關シテ
御書ノ事ニ關シテ御機嫌ノ事ニ關シテ

一十八日清水 = 着御

一十九日駿及久能山 東照大權現ノ御

一 廟社御参詣御袋東ヲ普セラレ供奉ノ

一 面々各装束

一 是日駿府ノ城 = 着御城主中納言忠

一 長郷餐應

一 廿日田中ノ城 = 着御此所ハ中納言

一 廿一日掛川城 = 着御

一 廿二日濱松 = 普御城主高カ攝津守

一 廿三日吉田城 = 着御城主松平主殿

頭忠利養膳ヲ獻ス忠利カ嫡子五郎八

郎後主殿御前ニ召メ拜謁ニ御服指

負宗ノ五郎八郎ニ賜ル是ヨリ先

公御上洛ノ時吉田ノ城ニ於テ五郎八

郎 公ニ謁ニ取ニ御腰物雲次五郎八

郎ニ賜ル

一 廿四日岡崎城 = 着御城主本多伊勢

一 守忠利餐應ス

一 廿五日執田 = 着御

一 廿六日桑名ノ城 = 着御城主松平河

一 朔日 膳所ノ城ニ 着御城主菅沼織
 部正定芳養膳ヲ献ス
 二 日 將軍家御入浴供奉面々各旅衣
 ノ故ノ養服ヲ着ス在京ノ諸大名御迎
 ニ出テ拜謁ス 御入浴ヲ拜ニ奉ル京
 師ノ男女辺境ノ老若家屋ニ尸ヲシ山
 野ニ先テ逐分ヨリ山科邊ニ群集ス
 將軍家ニ條ノ城ニ 入御 公ニ御對
 顔此月中旬ヨリ淀ノ城ニ 渡御アリ
 此処ヲ御旅^三ニ定メラル

一 是日本多大學助忠次^{大隅守}卒ス十七
 歳
 一 六日服坂中務少輔安治京都西ノ洞院
 二 卒ス七十三歳其子^先安治家^督讓
 居^リ隱^ス
 一 九日 公淀ノ城ニ 渡御城中上覽在
 テ城主松平越中守定綱ヲ召テ命有テ
 曰城郭早ク造畢ヲ殿閣ノ經營郭外ノ
 構ヘ悉 御旨ニ應ス今度 將軍家御
 在京中 御旅館タルヘキノ旨ヲ

命セラレ時ニ御腰物暑衣黄金ヲ定綱

ニ賜ル定綱ニ御腰物綿等ヲ獻ス

一 是月中旬 將軍家淀ノ城ニ 渡御ス

リ御腰物暑衣黄金ヲ定綱ニ賜ル定綱

ニ御腰物綿等獻ス將軍家八月下旬至

御滞座城

一 十八日 公大政大臣ニ任三玉ヲ元右

從一

是日 將軍家左大臣ニ任從一位ニ叙

三玉元正位大臣

一十九日

從二位權大納言任叙

駿河中納言忠長郡

尾張中納言義直郡

紀伊中納言賴宣郡

從三位權中納言任叙

水戸參議賴房郡元正四位下

松平筑前守利常本氏前田後肥

言利長養子實大納言

松平陸真守政宗本氏伊達左京

從三議位

松平薩摩守家久本義弘男兵庫

四位下

松平宮内少輔忠雄本氏池田輝政三男元侍從

松平下野守忠鄰本氏蕭生飛彈守秀行男侍從

松平伊豫守中納言秀康卿二男

從四位下左近衛中將

佐竹右京大夫義宣常陸人義重男元侍從

森美濃守忠政三左衛門可成六男元侍從

少將

井伊掃部頭直孝兵部少輔直政二男元侍從

從四位下叙

松平長門守秀就本氏毛利中納言輝元男元侍從

上松彈正少弼定勝中納景勝男元侍從

藤堂和泉守高虎源外虎高男元侍從

細川越中守忠利越中守忠貞男元侍從

京極若狹守忠高參議高次男元侍從

松平越前守忠宗本氏伊達政宗男元侍從

松平新太郎光政本氏池田松平武藏守利隆男元侍從

從四位下侍從

松平出羽守直政秀康卿三男元侍從

侍從

佐竹修理大夫義隆義宣男元
加藤肥後守忠廣清政男

松平土佐守忠義本氏山内對馬守一豐男元四品

堀尾山城守忠晴出雲守忠氏男元四品

淺野但馬守長晟長政男元四品

松平石見守輝澄本氏池田輝政四男元四品

松平中務大輔忠知本氏蒲生秀行二男元四品

加藤左馬介嘉明三之介數明男元諸大夫

鍋島信濃守勝茂加賀守直茂男元諸大夫

松平下總守忠明本氏真平信昌四男元諸大夫

松平阿波守忠英本氏蜂須賀至鎮男元四品

叙從四位下

松平右衛門佐忠之本氏黑田長政元諸大夫

本多美濃守忠政忠勝男元諸大夫

從五位下侍從

吉良若狹守義冬上野介義孫男元無官

從四位下

伊達遠江守秀宗政宗男元從五位下侍從

京極丹後守高廣高知男元從五位下侍從

酒井雅樂頭忠世

河内守重忠男
元從五位下

森右近大夫忠廣

養濃守忠政男
元從五位下侍從

土井大炊頭利勝

左衛門利昌男
元從五位下

松平周防守康重

本氏松井周防守忠次
男

松平大和守直基

秀康卿四男

有馬玄蕃頭豐氏

中務少輔則
賴男

松平河内守定行

本氏久松定勝男
隱岐守改

松平土佐守直久

秀康卿

松平式部大輔忠次

本氏榊原松平出羽守
忠政男

松平右京大夫政綱

本氏池田輝政
五男

生駒古法師高俊

左近大夫正俊男壹岐
守任元每官

南部信濃守利直

大膳大夫信直男元
諸大夫

寺澤志摩守廣高

越中守廣正男元
諸大夫

水野日向守勝成

惣兵衛忠重男元
五位

松平丹波守康長

本氏戸田甚平男
五位

藤堂大學頭高次

高虎男
五位

永井信濃守尚政

左近大夫直勝男
元五位

井上主計頭正就

男
右工門清秀

從五位下

黒田勘介由長政

長政二男任甲斐守

黑田官兵衛高政長政二男任東市正

松平右七郎輝興輝政六男任甲斐守

松平刑部定頼定行男任河内守

小出吉親大和守吉政男任對馬守

秋月種春長門守種長男任長門守

木下利當宮内少輔利房男任淡路守

稻垣平右衛門重綱平右衛門長茂男撰津守任

大久保四郎右衛門忠成忠世三男任玄蕃

稻垣藤七郎重太平右衛門長茂三男任若狹守

久留寫通春康親男任丹波守

喜多見五郎左衛門勝重撰津守朝忠男任若狹守

三宅康盛越後守康信男任大膳亮

有馬康純左衛門佐正純男任藏人及

青木源五郎重兼民部少輔一重男任甲斐守

堀直政式部少輔直之男任采女正

秋田季信城之分実季男任隼人正

杉浦市十郎正友弥一郎親以二男任越後守後内藏允

栞山一玄左衛門佐一直男任修理亮

一三日松平小太夫正吉卒
九月

一 五日天野長信 台命ヲ奉テ 中宮ニ
附屬ス 貳ニ食祿千石ヲ加賜セラル 從
五位下任豊前守同奉仕七年依台命禁裏
石加賜
一 八日二條ノ城ニ行幸曉前ヨリ黎明ニ
至テ細雨頻リニ酒陰暗卯ノ貳ニ及テ
伏暗ニ屬ス 行幸ノ兼日ヨリ迂回ノ
ノ役ヲ定メラル 凡ソ四段ノ御門ヨリ
搦門ニ至リ六町一段搦門ヨリ二条ノ
城東ノ御門際ニ至テ十七町九段二間

合廿四町九間迂回馬帽子着諸大名ニ
課夫役ス是領知サテテ 搦門ノ内ハ
駿河 西相忠 長尾 張 西相 義直 紀伊 西相
頼宣 水戸 黄門 頼房 四郷ノ家人等是ヲ
固ム 其列 蔭次ヲ乱サス 威儀 嚴肅也 小
路 每ニ弓 鉄炮 鏡長カヲ備テ是ヲ同ム
禁中 御留主ノ御番 武家ヨリ八人ヲ定
メラル 各家人ヲ召具メ 御築地外ニ伺
候ニ門々ヲ警衛ス 兼日ヨリ是ヲ定メ
ラル

一行幸、日諸大夫名過固ノ兼日ヨリ仰出
廿儿、輩

駿河大納言

尾張大納言

紀伊大納言

水戸中納言

松平筑前守

松平薩摩守

松平陸奥守

松平伊豫守

松平下野守

松平宮内少輔

松平長門守

細川越中守

佐竹右兵衛大夫

赤松養濃守

生駒壹岐守

赤松極若狹守

上松彈正少弼

松平新太郎藏門

赤松極丹後守

松平阿波守

淺野但馬守

加藤肥後守

鍋嶋信濃守

堀尾山城守

松平土佐守

藤堂和泉守

松平右衛門佐

加藤左馬介

寺澤志戸守

有馬玄蕃頭

稻葉彦六郎

南部信濃守

立花飛騨守

伊達遠江守

丸尾長門守

松平山城守

松平飛彈守

真田伊豆守

一柙監物

有馬左衛門佐

伊東修理亮

古田兵部少輔

石川主殿頭

松平丹波守

秋田右京亮

淺野采女正

本多甲斐守

德永左馬介

松平肥前守

加藤出羽守

宗對馬守

中川内膳正

小出大和守

井上主計頭

永井信濃守

丹羽五郎左衛門

松平出羽守

安藤右京進

警固ノ者二千六百十二人

井伊掃部頭

小笠原右近大夫

土井大炊頭

水野日向守

堀丹後守

本多伊勢守

岡部内膳正

酒井讚岐守

一万石二付テ一丁
二人宛

本多養濃守

酒井雅樂頭

松平河内守

松平式部大輔

牧野駿河守

戸田左門

松平周防守

烏帽子着百五十七人

一万石二付一町
一人宛

服坂治路守

龜井大九

松倉豊後守

魚極修理亮

松平大和守

金次出雲守

織田刑部少輔

小出信濃守

松平石見守

松平右京大夫

保科肥後守

木下右五門大夫

山崎甲斐守

秋月長門守

嶋津右京大夫

松平將監

本多大隅守

大久保新十郎

木下宮内少輔

毛利伊勢守

大村松千代

戸川肥後守

松平古七郎

栗山加賀守

本多因幡守

分部左京亮

遠藤但馬守

松平和泉守

松平土佐守

土方掃部頭

別所豊後守

相良左兵衛

土方丹後守

大田原備前守

日根野織部正

織田河内守

平岡牛右衛門

織田丹後守

織田武藏守

小出隅守

池田越前守

三浦左馬守

立花主膳正

前田大和守

建部三十郎

伊藤丹後守

市橋伊豆守

久留嶋左衛門佐

桑山刑部少輔

栗山左衛門佐

三宅越後守

細川玄蕃頭

五嶋淡路守

人数千六百五十三人

一万石三村

本多飛騨守

石野集人正

菅沼織部正

本多下総守

杉原伯耆守

水野集人正

戸田因幡守

長谷川式部少輔

石川主膳正

谷出羽守

溝口伯耆守

溝口伊豆守

音木民部少輔

高力撰津守

松平右衛門大夫

内藤伊賀守

稻葉丹後守

音山大藏少輔

板倉内膳正

酒井河内守

点極主膳正

秋元但馬守

松平越中守

板倉周防守

禁裏四ツ足ノ御門ヨリ二條ノ御城東

ノ御門除ニ至テ二十四町九間也右ノ

間数千四百四十九間人数三千三百廿

七人一万石ニ付

行幸ノ役者千六百六十三人一万石ニ

小路當ノ人数一万石ニ付小路四十一

ヶ取十万石ヨリ上三十人宛大將ノ

一供奉ノ諸公家騎馬ノ龍蹄悉ク家家ヨ

リ調進又リ五

東武實録卷之十五

寛永三丙辰年

九月

一六日 行幸 大殿祭 儲ノ御所ニ於

テ行幸ノ前夜但

祭主神祇権少副大是ヲ勤ム

役者

主殿寮常燈ヲ 左寮結灯臺

掃部寮小半疊三疊

薨子三枚

一行啓ノ御先御供ノ女中衆

長柄 七十丁 鈎輿 八十五丁

包輿 六十九丁 布衣 六十九人

烏帽子著 二百四十人十徳着千百十

人右是ハ 中宮御供女中ノ輿副并駕

輿丁也

長柄 三十五丁 鈎輿 四十七丁

包輿 二十五丁 布衣 四十人

烏帽子著 百十人 十徳着五百廿五

人

右是ハ 女院御供女中ノ輿副并駕輿
丁也

其次

長柄 四十七丁 鈎輿 五十七丁

包輿 三十六丁 布衣 四十五人

烏帽子著百五十人十徳着 七百四

十人

右是ハ 禁中御供女中ノ輿副并駕輿

丁也此内少々前晚ヨリ来義ノ衆アリ

ト云云

中宮行啓供奉列

武家諸大夫兼元二十負定ノ、ル各

帶一日暗
騎馬二行

左

右

水野遠江守

松平肥前守

松平豊前守

松平出雲守

三宅越後守

安部撰津守

神尾刑部少捕

皆川志广守

戸田因幡守

丹羽式部少捕

久貝因幡守

秋元但馬守

板倉内膳正

音山大藏少捕

高力撰津守

保科肥後守

松平將監

松平玄蕃頭

酒井阿波守

松平紀伊守

右北人各供奉長力持男一人素袍袴烏

烏帽子着三人馬副三人白張傘持白張

諸大夫衆各如此

一行

今大路民部大捕典藥頭

二行
左

荷田信勝

菅原正次

秦親明

右六人非藏人

供奉ノ公家武家各一日晴

諸公家召具ス所ノ白丁馬副布衣傘持

其仁躰ニ依テ多少有テ差異ナシ

左

右

卜部兼林

荷出信吉

加茂信久

小規忠利極生

實為倉侍從

隆術四奈侍從

秀雄船橋式部

通純中院侍從

恭重土御門中

公勝朝臣三條西

永慶朝臣右衛門

一行

右大兵宰相柳原宰相

原通規堀小路

實村橋本侍從

雅昭飛鳥井侍

有純六奈少將

言山科少將

共綱清閑寺中

綱廣勸修寺

通前朝臣中久將

中宮權大夫中院中納言

日野中納言光慶

廣橋大納言總光

日野權大納言光廣

日野大納言資勝

中宮大夫實條

内大臣二条康通

一日暗下襲唐織物蕨芳地紋菱表袴唐

織物黼黃紋鞞唐織物地紋菱散

右前後左右ノ供奉先以地下ノ傘持十

人白丁六人諸大夫二人騎馬隨身四人

騎馬居飼二人副舍人二人布衣馬副二

人下筋隨身二人步行退紅一人

二行

左右

雅胤朝臣飛鳥井為賴朝臣中令將

中宮御方御車

右御車前後左右ノ御供奉牛飼四人一人

童形二人御車副八

人御榻舍人二人白張退紅二人

二行
右

右

少進天野豐前守藤原長信 大橋越後

守藤原親次

權少進小槻亮昭

大属中原成在

少属高橋亮春

右五人狩衣 紋紗下襲 唐綾指貫 同

御隨身二行

左

右

八柙生又右衛門 火川新九郎

外岡野平兵衛 高木九兵衛

花井勝右衛門 久永源兵衛

右六人武家 日遺廿九冠 常服 口褐 紗文

縫衣 唐織 萌黃 金裏 了 袖 草 赤地 大金

帷袴 唐織 石帶 絲鞋 御車寄 三 於 乘御在 御 面 四

一 且御門少北江折正親町 西江堀川ノ

南江行二條ノ御弟ノ東門ニ入也玉ノ

南四足ノ門外ニ於テ放牛手牽宮司權

少進大小属等諸大夫音山大藏少輔板

倉内膳正秋元但馬守松平豊前守阿部
横津守宗久貝因幡守神尾刑部少輔等
是月役又御車寄ニ於テ下御豫ニ
御屏風儿帳ヲ立ル先達テ忝着ノ女房
出迎ニ真ノ間ニ入御供奉ノ公卿ハ
中門ノ内東上北面ニテ列ニ立テ警尼
又殿上人ハ中門ノ外ニ留ル啓將亮権
亮大進等ハ御車ニ隨テ其後入ル
御車ハ中門ノ外北ノ方ニ立ル厩橋侍
從佐倉侍從板倉周防侍從酒井讚岐守

井上主計頭永井信濃守御門外ニ候ノ
諸般ヲ奉行ス

一女院御幸中宮行啓次同刻
供奉行列ニ行

加茂頼人 藤原昌能
卜部兼里 藤原元知
卜部兼則 加茂説久
右六人非藏人
安部恭吉 倉橋
定時 右京大夫

貝亮 木工頭

雅陳 伯侍從

季福 裏過侍從

公久 花園侍從

忠定 清水谷侍

隆朝 檜筭侍從

經敦朝 門大侍從

公信朝 臣德侍從

一行

右衛門督永慶

在村 唐橋民部

貝起 岩橋侍從

公業 河野侍從

隆經 油小路侍

公根 倉侍從

基教 川簪侍從

遂長 西坊城新

長經朝 臣少東坊城

水每瀬氏成

院宰相中將定好

中納言實頭

四辻中納言季繼

右大將忠九條大納言

下日暗下藝唐織物 甲蕨芳地紋龜表袴唐

織物 蕨芳紋窠ノ霞鞞唐織物 蕨芳地紋

右前後左右ノ供奉先ツ地下ノ傘持八

人白丁六人諸大夫二人騎馬上躡隨身

二人騎馬下躡隨身四人步行副舍人二

人布衣二人馬副四人褐冠退紅兼退

一日暗下紫唐織物浮黃紅綾表袴唐折物

右前後左右ノ供奉先ツ地下ノ傘拵十

人二行連三白丁六人諸大夫二人騎馬

居飼一人厩舍一人櫛二人上臈隨身

四人騎馬五位侍二人下臈隨身二人馬

副四人退紅女院御方御車

右御車前後左右ノ御供奉御壺召次六

人狩衣葛袴葛葉人童形一人御招ヲ持テ

牛飼四人一人御轅ヲ持ツ

御車副八人褐冠主典安倍廳直紀宗

雜色四人舍人一人白張退紅二人

後騎一行

西園寺大納言公益

左衛門大尉中原治興

召次長多吉繼行衣白唐綾

女院御車 中宮行啓ノ次也放牛牛牽

下公卿殿上人ハ作法同前但ニ御車ノ

寄斗牽人役別人是月勤公其後御車
中門ノ外 中宮ノ御車ノ西ニ是月立

心姫宮 後御 女院御幸ノ次同刻

供奉行列

二行

左

藤原元和

鴨 祐信

右

秦 公慶

秦 親修

加茂誠平

荷田信重

右六人非藏人

左

隆脩 七条侍從

右

清原賢忠 清藏人

宗種 難波侍從

基定 持明院侍

宗保 松木侍從

通成 久世少將

基秀 川路侍從

公景 姊小路少將

信孝 樋口少將

隆景 鷲尾侍從

為賢朝臣 藤原

晴興朝臣 平松

康胤朝臣 堀川

孝治朝臣 竹内

一行

西園寺宰相中將實晴

1

清閑寺中納言共房
左大將鷹司教平

一日暗下襲唐折物紅葉浮織表袴唐織

物綴窠右前後左右ノ供奉先ソ地下ノ

拿持八人白丁六人諸大夫二人騎馬上

躡隨身二人騎馬下躡隨身四人步行副

舍人二人布衣二人居飼二人退紅

姫宮御方御車

右御車前後左右ノ御供奉牛飼四人一人

持一童形二御人御撮ヲ御持ヲ御車副八人褐冠

舍人二人白張退紅一人

此次出車六両

右車

右車前後左右ノ供奉牛飼二人二行ト

白丁四人車副二人舍人二人布衣

二人退紅一人六両車各供奉同前

判官騎馬左衛門尉大石昌弘

二車

判官騎馬左衛尉大石正弘

右二両ノ御供車中宮ノ女中十五人

是二衆

三車

判官騎馬姉小路左衛門大志大石

久弘

四車

判官騎馬町口右衛門少志家弘

看督長是十ニ使廳是

右二西ノ御供車 女院ノ女中八人是

二ノ儿

合入二五車

判官騎馬堀川左衛門大志大石

弘

六車

判官騎馬勢田左衛門少志中原

右二西ノ御供車 禁中ノ女中八人是

ノ儿

下北面二行

丸

藤原通氏河端隼人藤原光益連水長

藤原宗頼山形右衛門藤原重尚世續甲

藤原直益大速見右近藤原將益京速見右
藤原道春少河端右衛加茂氏顯國本差
藤原榮益正速見宋女加茂清田國本丹
加茂清生國本熊分源元教富嶋伊
藤原重好大沢内
姫宮ノ御車女院ノ次也作法共以
テ同前入御ノ儀先ツ中宮ノ御車
南ノ四足ノ門外ノ方ニ御車屋ニ入
次ニ女院ノ御車次弟ニ是ニ入ル御
供ノ車六西ノ出車ハ是ヨリナキニ

女院御車寄ノ方ニ引入ル出車六西
姫宮御車ノ次也御城東御門外ニ於テ
放牛牽但ニ武家白丁相加ル也騎馬ノ
衆御門外ニ於テ下リ隨車道明キ次弟
南ノ四足ノ門ノ前西ノ方ニ引入
女院御御殿車寄ニ於テ下此車寄ハ女
中方末ノ衆女孀等屏風ヲ立一車ヨリ
六車ニ至テ下車ノ者次第ニ車屋ニ引
入ル宮中ニ於テ兼テ数局ヲ建ル下
各長棟凡ソ三十五所局毎ニ昼夜ノ衣

類手道具臺子以下行水所ノ雜物并伽
羅燒物等ヲ豫シメ是ヲ調置ル抹茶ハ
宇治ニ課セテ數百斤是ヲ貢ス右諸ノ
御道具後日ニ委ク是ヲ送ラレ
一將軍家御參内ノ行粧
行列奉行堀因幡守宮城甚右衛門堀田
勘九衛門内藤久五郎稻垣若狹守三枝
宗四郎加々爪民部少捕永井監物渡辺
平四郎豊嶋主膳正今村傳四郎永田勝

九衛門長谷川四郎兵衛堀三右衛門
雜色十人二行左右烏帽子上下
行列
供奉ノ武士各長刀持烏帽子着馬副白
丁傘持是ヲ召三具ス
行列 一行 板倉周防守 二行 右
左

居飼二人 騎馬
御厩舍人一人
居飼一人 騎馬
御厩舍人一人

松平山城守
松平飛彈守
本多伊豫守
松平和泉守
小笠原右近大夫
松平周防守

牧嶽駿河守
松平豐後守
藤堂大學頭
本多下總守
松平河内守
松平對馬守

有馬兵部少輔
淺野宗女正
水野隼人正
加藤式部少輔
本多甲斐守
岡部内膳正

戶田九門
急極修理大夫
赤沢多庫頭
菅沼織部正
南部山城守
錫嶋紀伊守

水野紀伊守
松平右近大夫
戶田宗女正
松平加賀守
松平若狹守
水野和泉守

堀兵部大輔
堀丹後守
三宅大膳大夫
前田大和守
金森出雲守
岡部美濃守

黒田 市正 織田丹後守 秋田河内守
黒田甲斐守 烏山長門守 直田河内守

溝口伯耆守 織田美作守 九鬼長門守
杉原伯耆守 織田越後守 一桺監物

大田原備前守 伊藤修理大夫 小出大和守
松平石見守 松浦肥前守 池田備中守

石川主殿頭 稻葉於路守 加藤出羽守
中川内膳正 徳永左馬介 青木甲斐守

佐久間大膳亮 戸桐石見守 平野遠江守
木下右衛門大夫 毛利伊勢守 谷 出羽守

本多因幡守 山崎甲斐守 相良左兵衛尉
遠藤伊勢守 戸桐主膳正 小出對馬守

斤桐出雲守
木下宮内少輔

市橋伊豆守
島津右馬頭守

長谷川式部少輔
分部左亮

一柙恙作守
伊東若狹守

桑山修理亮
五島淡路守

松倉長門守
一柙丹後守

池田出雲守
木多是驛守

戶川肥後守
戶川土佐守

佐久間信濃守
立花主膳正

小出大隅守
溝口出雲守

古田兵部少輔
遠藤但馬守

相良臺岐守
土方丹波守

関兵部少輔
溝口伊豆守

服坂主水正
素山加賀守

細川玄蕃頭
堀田兵部少輔

竹中筑後守
井上淡路守

有馬藏人
秋月長門守

小堀遠江守
石河伊豆守

日根野織部正
内藤豊前守
三浦監物
服坂淡路守
横山土佐守
竹中采女正

水野河内守
堀因幡守
急極主膳正
那須美濃守
朽木民部少輔
松平伊賀守

土屋民部少輔
井上河内守
藤堂九兵衛尉
高力左近大夫
阿部修理亮
本多能登守

本多将監
田中主殿頭
三浦志之守
成瀬伊豆守
堀市正
神尾宮内少輔

水野横津守
秋田隼人正
小笠原出雲守
小笠原壹岐守
酒井主膳正
寫田刑部少輔

高林河内守
酒井加賀守
朽木民部少輔
佐野左京亮
松平兵部少輔
服部玄蕃次

松平伊豆守 安藤右京亮 稻葉丹後守
池田 帶力 阿部豊後守 内藤伊賀守

永井信濃守 酒井讚岐守 一行
井上主計頭 松平越中守 一行

板倉侍從 厩橋侍從 二行
右 番頭
九 番頭

四人 石八人 烏帽子白張但平結色紅裏 衣平結
四人 帶力也

右 能勢次左衛門 長谷川縫殿
左 三好勝左衛門 北条久五郎

内藤傳左衛門 川口長三郎 森九郎左衛門
内藤 主馬 真田長兵衛 山内房勘右衛門

跡部民部少輔
駒井次郎左衛門
永見新右門
能勢小十郎
加藤勘右衛門
安藤次右門

野一色外記
瀧川三九郎
多賀左近
西尾主馬
新庄甚今
林丹波守

大久保源三郎
桑山内匠
加藤平内
村上源今
佐藤勘右工門
徳山五兵衛

一色左兵衛
松平甚兵衛

右三十人
歩行
烏帽子
萌黄ノ上
下金薄
ヲ著シ金履ヲ以テ唐蓆ヲ紋所ニ貼絲鞋

番衆二行
右
秋山十右衛門
井上清兵衛

右二人

騎馬冠帶ノ如ク褐平箱裏アリ

草赤地金襴袴白唐綾裏アリ石

帶絲鞋

御車

右御車前後左右ノ御供奉御長刀持

布衣十八千風折得衣紋紗也薄袴唐綾

黃絲御牛飼三人童形一人御車

爛袴唐綾前黃末濃裏アリ御車副八人

褐舎人二人白張御搦持一人白張御階

持一人白張權御隨身二人持九二御

下臈御隨身六人紋行唐綾色前黃金薄

金襴色三人赤地三人黄色縫紋

右御馬前後左右ノ行列居飼一人鴉帽

紫直垂上平礼直垂御馬御既舎人一

人上鳥帽子御馬副八人冠常

夕褐金襴袴白生裏

後騎 一行 尾張大納言義直右ノ供奉
持一人冠烏帽子十人素袍布衣六人馬副
四人居銅白丁十人帽子十人
給直金白丁十人帽子十人

右 成瀬隼人正

諸大夫二人騎馬 紀伊大納言賴宣 右供奉同

左 舍竹腰山城守

前諸大夫二人騎馬

右 水野泆路守

駿河大納言忠長 右供奉同

左 安藤 帶刀

右 朝倉筑後守

前諸大夫二人騎馬

左 鳥居土佐守

水戸中納言賴房 右供奉同

前諸大夫二人騎馬

右 中山備前守
九 村瀨左馬父

仙臺中納言

加賀中納言

薩戶中納言

越前宰相

備前宰相

會津宰相

二行

秋田中將

豊前少將

仙臺少將

奏作中將

長門少將

因幡少將

白川宰相

若狹少將

米沢少將

毛利宰相

美作侍從

臼杵侍從

山崎侍從

彦根少將

柙川侍從

大野侍從

阿波侍從
伊達侍從
秋田侍從

上山侍從
丹後侍從
織田侍從

對馬侍從
出雲侍從
筑前侍從

安藝侍從
肥後侍從
土佐侍從

松山侍從
姫路侍從

肥前侍從
郡山侍從

右中少將侍從共三十三人

右
松平土佐守
有馬玄蕃頭
松平大和守
松平石見大夫

南部信濃守
水野日向守

生駒壹岐守
寺沢志廣守
松平隱岐守

松平丹波守

松平式部輔

右四品十一人

一二條御殿 御車寄ニ於テ 御乘車
御東帶一日暗御下襲紅二重織物御紋
葵ノ凡色白表御袴朽葉唐織御紋窠霞
一禁中西四足ノ御門ノ北ノ方ニ於テ
下御此時殿上ノ方ヨリ関白以下庭上
ニ下迎接ニ一礼畢テ清涼殿ノ南階ニ
昇テ也玉ノ南東ノ縁ヲ過キ玉ニテ常
ノ御所ニ参リ給ヒ御肅禮中柱ノ西ニ
御着坐ニ献ノ御祝儀アリ初献
主上 御盃 將軍家ニ是ヲ賜リ其御

孟女中ニ巡流ニ献同前 御参内ニハ
天酌是ヲ略セラル常ノ
三献此時ハ二献也祝礼訖テ退出
下御ノ処ニ於テ 乘車 還御本ノ如
ク二條茅御車寄ニ於テ 下御
還御ノ行列同前

東武實錄卷之十六

寬永三丙寅年自九月六日至同月七日

閏九月

一六日行幸前駟後衆ノ供奉人各一日

晴東帶袍等常ノ如ク叅議以上ハ唐織

ヲ用ヒ中將以下ハ縫物或ハ薄ヲ用工

一行幸ノ期ニ臨テ南殿ノ御隔子ヲ上ケ

閑白諸下知アリ上郷兼一條右大臣陣ニ

召シ仰スルノ義アリ奉行取事頭中將

臣西局諸司ヲ候ニ出納役者ニ催ス御

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

留守ノ公卿ハ正親町三條中納言實有
辨ハ日露寺持長

主上南殿ニ出御御束帶御袍黃極深

御下襲籟芳御引陪木紅綾表御袴白浮

織窠御殿ヨリ長橋御後南殿ニ至リ鋪

道布終閑白御裾ヲ取リ内侍言大納

内侍新劍壺ヲ持ツ陰陽ノ頭加茂友章及

閑是ヲ勤ム圍司奏者今度是ヲ略セラ

ル鈴奏少納言為適朝臣着版是ヲ奏ス

鳳輦ヲ階回ニ寄セ左右ノ次將相副ノ

荻山院宰相中將定好劍壺ヲ役ス

鳳輦ニ入御ノ後閑白御裾ヲ疊ニ入

ル中門ノ外ニ於テ大將有綱仰御道

堂御左衛門陣東ノ洞院大路ヲ北江行

正親町小路ヲ西江行堀川大路ヲ南江

行二条并ニ入御

二行

左

伶人廿五人

右

伶人廿五人

太鼓 白丁二人
是ヲ持

鉦鼓 白丁二人
是ヲ持

烏帽子着 二十五人
素袍袴

白丁二十五人

傘持二十五人

太鼓 白丁二人
是ヲ持

鉦鼓 白丁二人
是ヲ持

烏帽子着 二十五人
素袍袴

白丁二十五人

傘持二十五人

戸屋主一人 烏帽子布

掃部寮一人 烏帽子布

内藏寮 衣裳同前

御道具

御倚子 白丁二人
是ヲ持

毯代箱 白丁一人
是ヲ持

布毯箱 白丁一人 是ヲ持

御草鞋箱 白丁一人 是ヲ持

御靴箱 白丁一人

文杖 白丁一人

日給札 白丁一人

切臺盤一脚 白丁二人 是ヲ昇

臺盤三脚 白丁六人 是昇

燈臺二本 白丁二人 是ヲ持

打敷二本 白丁二人 持之

出納戢忠朝 騎馬

御藏因幡守 步行

御藏民部丞

御藏宮内丞

御藏正直

行幸 未刻

行列 二行

集人兵士十人 左

集人兵士十人 右

右二十人 烏甲赤袴絲
鞋戈ヲモツ

一行

隼人正 騎馬烏帽子狩衣ヲ
着ニ下襲ナリ

左衛門尉

昌弘 騎馬

共綱 清閑寺
騎馬

左兵衛尉

佐宣順 中御門
騎馬

少納言

為適朝臣 五條

公卿

左衛門督

四洞院取直

右大將宰相

柘原業光

中宮權大夫中院通村

日野中納言光慶

清閑寺中納言共房

河野中納言實顯

中御門中納言宣衡

四辻中納言季純

今出川大納言宣季

西園寺大納言公益

廣橋大納言總光

日野新大納言光廣

中宮大夫 三条西実條

三条大納言 轉法輪公廣

内大臣 右供奉前見工儿

右大臣 右供奉前見工儿

二行

左

右大将

右大将

右二人、供奉前見工儿

次將左

次將右

雅胤朝臣 飛鳥井

元親朝臣 中山中將

秀言朝臣 將 滋野井中 重秀朝臣 將 庭田少

廉胤朝臣 堀川中將 為尚 冷泉少將

兼俊 水無瀬中將

鳳輦 内豎右康時御
草鞋御筥二居

四府ノ駕輿丁兄部四人右近府沙汰人

一人下坐 四十五人 猪熊座 三十六人 以

上白張ヲ著ニ 鳳輦ヲ録

御後

一行

嗣良朝臣 高倉中將 高有 右 押小路少將

為賴朝臣 冷泉中將 公景 姉小路少將

親頭朝臣 北昌少將 言然 山科少將

基章朝臣 園及中將

一行

花山院宰相中將定好

西園寺宰相中將實暗

二行

取車

丸

經廣

勸修寺并

右

小槻忠利 極薦

安倍泰吉 倉橋

清原賢忠

藤原通規

塩小路

荷田信次

藤原元辰

加茂以久

鴨 祐信

藤原俊尙

秦 元純

一行

右其衛府

尉

生行

佐

網房

万里小

右衛門府

佐

永將朝臣

高倉右衛門

諸司行列

二行

丸

陣官人櫛田

右

陣官人戸嶋

右二人步行

六位平結袍闕腋帶劔

丸

丸

大外記

中原師生

大外記

官格孝亮

三行各步行

丸

中

右

白丁十人

白丁十人

白丁十人

少外記主殿

右大史英芳

伴

友忠

權少外記生及

丸少史寔盛

主殿秀勝

權少外記生慶

史生孝昌

內豎勝康

權少外記生利

九官掌氏房主殿職則

史生行時

九官掌永昌

兵庫及賢在

史生生宣

九官掌氏春

戶屋主正清

召使生重

召使亮行

修理職家次

大舍人生重

召使高之

修理重次

大舍人生久

不藏省

木工寮

御藏康善

衛士四人

仕人三人

使部一人

使部四人

大工五人

諸司白丁前驅十人宛三行

残白丁傘持等後二有三行

一行

關白

車

近衛丸大臣

下襲唐織物

地黃表袴唐織物

信尋地萌黃紋

右車前後左右ノ供奉警固四人前驅ノ

傘持十三人白丁十人諸大夫五人左騎三馬

人右二人上萬布衣二人警固二人牛飼

隨身步行一人居餵子人退紅一人

一鳳輦四足ノ御門ニ至リ暫ク隼居云奉

正神祇官祭主大麻ヲ捧テ伶倫音樂ヲ

奏ス此時大相國御東帶一日暗御袍

二重織物御紋葵ノ丸色紫御本丸日

表御袴白唐折御紋紫御本丸日

將軍家一同ニ儲ノ御所東ノ階ヲ下リ

立千中門ノ内北ノ方ニ候ニ玉ヲ

大相國御劔大沢中將是ヲ役ス御腰物

大沢侍從是ヲ役ス將軍家ノ御劔吉

良少將役之御腰物吉良侍從是ヲ役ス

彦根少將姫路侍從郡山侍從御後ニ

候ス酒井下総守本多美作守太田采女
正鳥居讚岐守以下各廊下ニ候豫シ人
敷道布祿儲ノ御所ニ於テ中山親中
ヲ奉行ニ出鳳輦中門ニ至ル元親是
立替ル納是ヲ催ス鳳輦過ル各警屈ス
大相国 將軍家御啓折 鳳輦西階ニ
至ル大相国將軍家本階ニ昇リ
玉ノ主上入御下御ノ関白御裾ヲ
トリ御後ニ疊置退西ノ方ニ侍ス
主上暫ク南面ニ立御大相国

將軍家東南ノ縁ヲ歷玉ヒテ入座蹲
踞ニ玉ノ主上御目有リ簾中ニ
入御 大相国 將軍家本ノ如ク東南
ノ縁ヲ歷玉ヒテ入御厩橋侍從佐倉
侍從板倉侍從酒井讚岐守井上主計頭
永井信濃守内外ヲ下知ス

- 御座鋪饒
- 諸ノ御所南御上檀ノ間
- 御床ノ押板 御文臺蒔繪 御硯
- 御違棚 六種ノ御香ノ篋 中ノ棚

銀ノ御火取 銀ノ盆ノ六角
居

一 御棚ノ下押板 御重硯 二十一面
獅子虎

一 南面 御簾鎮 二對 獅子虎

一 御座 東西ニ御茵是

一 御張臺ノ内

一 西北ノ角 銀ノ御衣桁 一對 御衣三重
掛

一 西南ノ角

御衣ノ筥一荷 蒔縹ノ上ニ御宿直物アリ

一 花梨ノ御照息 照細代 御枕有

一 御伏籠 蒔縹

一 東北ノ角 御室黒ノ御箱 同御小道具 蒔銀

一 中ノ御座 南面ニ御茵アリ

一 御座ノ上ニ銀作ノ御劔 信平蒔箱

一 北御上檀ノ間

一 西南ノ角 御厨子ノ御棚 御料帑 色

一 包服是ニ御水引

御硯箱 蒔縹 銀ノ御室燒ノ御

火取香爐 御鳥蒔

一西北ノ角 銀ノ御午拭掛白布ノ御午拭
一御座南西有 北ノ三ノ間

一西南ノ角 銀ノ御臺子 金御風爐釜

一御臺子ノ上 金御水指翻物 金御柄抄立

一 同臺象牙御茶抄 金御茶入三 金御天目

一 銀御龜飼茶碗一對 同四ノ間居銀臺

一西南ノ角 菟繪御臺子茶碗茶入

一東南ノ角 銀ノ御椽角盥 銀御耳盥

一西北ノ角 御硯箱 菟繪

一東北ノ角 御簾鎮十對 獅子虎猫

一 御釣殿

一東南ノ角 二階棚 御短丹箱 御硯菟繪

一御座 御

一 掛天井 掛風鈴

一御廊下 玳瑁ノ御燈篋

一 御休息ノ御殿

一 御書院ノ押板 御硯 菘縛 御鳥箒

一 御床ノ押板 金ノ孔雀御香爐銀居 盆

一 御違棚 御香爐菘縛盆 堆朱六角

堆紅御香合 一對 盆

沈ノ御枕 一對

一 東北ノ角 銀ノ御午拭掛白布ノ御掛

一 御座 東南面御座ノ上ニ沈ノ御

照息アリ

御廣間御傍 三帽幅一對 牧溪筆

一 御上壇ノ御床

龍六階言 大階言 中 寒山拾得言 西園言 大階言 関右 虎 大階言 内大

一 御床押板 中花梨 拵卓 霍龜

銀御花瓶 銀御枕 銀御香爐獅子 銀御香合菱

銀香匙ノ臺 西照花梨ノ卓

銀ノ御花瓶 二對

一 御下壇 御臺子梨地 御風爐盆

御水指 御水滴

御水指 御水滴

御蓋置以下皆黄金

右ノ諸飭悉ク御進上ナリ

儲ノ御所膳ノ御膳

御座疊ヲ鋪御茵ヲ設

主上 出御 御直衣 大相国

將軍家御着座長扨ノ内ニ兼テ丹座ニ

設ケ南ノ簀子階ノ東一列四座アリ

関白 近衛九大臣 右大臣 一条兼内大臣

二条康日野大納言 資勝西園寺大納言

道益 今出川大納言 宣季 九大将 平鷹司教

右大将 九条 暗ノ御膳以前 大相国

將軍家以下各衝重ヲ献ス

大相国御前陪膳 柗原宰相

將軍家御前陪膳 中山頭中將

関白御前陪膳 勸修寺弁

公卿陪前 山科少將

土御門中勢杯酌一返 大相国

將軍家関白以下巡流其後

主上御膳暗ノ御膳御陪膳鷹司九大将

御手長柗原宰相 爲凡宰相 右衛門督 雨

頭中將事畢了入御各下座日少
退出

右暗御膳内膳司高橋是ヲ供

内々献方

初献御盃主上御前江女院御前江

中宮御膳江盃数三

主上御盃大相女院御盃

將軍家中宮御盃姫宮女二一宮但

姫宮御幼少夕ルニ依テ
深更ニ及フ故出御ナリ
二献御盃数一同前

主上御盃將軍家女院御盃

大相國中宮御盃將軍家

三献御盃数一同前

主上御盃大相国女院御盃

將軍家中宮御盃大相国

七御膳御相伴同前

内々御膳

一主上御掛盤御器御鈍子御瓶子御提子
諸ノ御道具以下悉ク黄金ヲ以テ是ヲ

製ス

中宮御膳 女院御膳黄金白銀ヲ以テ
是ヲ雜製ス 姫宮女二ノ宮御膳又同

ニ九録ニ詳ナリ右御膳ノ御道具悉ク

後日進上

主上御膳方奉行 彦根少將 板倉周防守

侍從

中宮女院姫宮女二ノ宮御膳方奉行

厩橋侍從 伊丹播磨守

右西人 將軍家ヨリ仰付ラレ

佐倉侍從 松平右五門大夫

右西人 大相国ヨリ仰付ラレ

女中方上下共ニ右ノ中ニアリ

一同晚 行幸供奉ノ役人衆百三十余人

樂人五十人七五三ノ點待アリ平折鋪

一諸公家衆或ハ昵近或ハ外様百余人點

待同前但三方足打人体ニ依テ替リ

リ

一七日 行幸翌朝御膳御内々ノ義

將軍家御進物兼テ陣列予儲ノ御所東

南ノ御簾ヲ釣ル

一 白銀三万兩 臺子二十是ノ戴口

一 御服二百領 長櫃北ニ是ヲ入縁

一 緋 銀ヲ用ル捧又金同

一 沈木一本 系長網ヲ二以三所是ヲ西射紅

一 襦結百卷 臺五是ヲ居南

一 紅糸二百斤 擱臺一ノ次ア積

一 玳瑁三十枚 北臺一ノ方ニ是ヲ積

一 麝香五斤 珀臺一ノ次ニア積

刻限ニ至テ主上出御 御座面ノ上

壇ニ於テ東面 將軍家庇ノ間ヨリ

御出御太刀行平上壇ニ上ル上壇ノ際

ニ於テ御一礼終テ 御退出

主上入御

一 同日將軍家ヨリ中宮 江 献セラル御進

物但ニ御内々

一 白銀一万兩 一 御服五十領

一 沈香七十五斤 一 紅糸百斤

一 緋華糸結五十卷 一 白綾子五十卷

一 麝香二斤

一 同日 將軍家ヨリ女院江献セラル

御進物 但シ御内々

一 白銀一万両 一 御服五十領

一 沈香七十五斤 一 紅糸百斤

一 緋華糸緒五十卷 一 白綾子五十卷

一 麝香一斤

一 同日 將軍家ヨリ女一人 宮江前二日

一 白銀三千兩 御服三十領

一 別金襴十卷

一 黄金五百斤 但シ一斤黄金一分ヲ以テ是ヲ製ス 雜ノ玩ナリ前ニ同

一 白銀五百斤

一 同日 將軍家ヨリ女二人 宮江前二日

一 白銀二千兩 御服二十領

一 金襴十卷

一 黄金五百斤 前ノ裂ニ同

一 白銀五百斤 上ニ同

一 宮方撰家衆先官ノ大臣諸門跡諸公家
衆残ヲス舞御覽トノ出仕并諸大名衆
諸大夫以下残ス伺公ス未ノ刻ニ至テ

御覽主上出御階ノ間御簾ノ際ニ
兼テ御座一疊御茵ヲ設ル西間
中宮女院御座一疊宛御茵アリ同
間ニ女院御座宮御座但疊東ノ間
大相國將軍家御座屏風ヲ以テ是
ヲ圍フ同間東二ノ間親王家門跡衆前
官ノ大臣ノ坐閑白以下公卿殿上人縁
ヨリ下縁ニ至テ列座ス兼テ四座ヲ設
クニ白縁五百

舞樂以前

舞臺修理取奉行ニテ是ヲ攝テ
舞終テ是ヲ徹ス

幄骨木工寮是ヲ

幄覆大藏省是ヲ奉行ス殿上人ノ居
所ハ殿子ヲ以テ是ヲ覆フ左右
樂人ノ紅白綾ハ緝布ヲ以テ是ヲ覆
テ張

先樂人中門ノ外ニ於テ三段ノ乱声危
次右次左右共ニ發ス次ニ吹調子平調
糸音声慶雲樂次左右ノ樂行更左近衛

中將嗣良朝臣石頭丸中將基音朝臣中
間入于樂屋ノ前立左右ノ樂人舞
人庭中列于一鼓舞々終于樂屋
二入七次樂行事本路ヲ經于退夕

次左振鐸

伯近元

次右振鐸

秦兼秋

次万葉樂

伯近元

伯友安

伯近盛

伯近慶

伯友久

伯近朝

次延喜樂

秦兼秋

秦兼貞

秦廣光

多忠行

多忠貞

多忠常

次青海波

序輪臺

通純

從中院侍

雅昭

從飛鳥井

忠勝

從京大

宗朝

補治部大

破青海波

公理

從四辻侍

時良

從西洞院

麴塵關腋袍

下襲紅葉表袴

紅葉卷殿冠

菟罽野太刀

紫紵平結鞋

音海波二人

兼拵頭

恒代三十四人 舞人六人以上 四十人也
殿上人四十人 伶人十二人 御隨身八人

殿上人

堀川中將康胤朝臣 恒代音 弓壺胡

籙

冷泉中將為賴朝臣 同

刑部少輔孝治朝臣 恒代音 取同

北畠少將親顯朝臣 同

源少將重秀朝臣 同

平松少將昶真朝臣 同

樋口少將信孝 恒代音 取

小松少將公景 同

六條少將有純 同

松木侍從宗保 東園侍從基教

難波侍從宗種 持明院侍從基定

裏辻侍從李福

深將東

左右伶人十二人

左

右

秦兼延

大神景福

秦廣賴

多忠真

安倍季勝

多忠行

秦兼次

多忠清

秦昌長

多忠常

秦廣壽

多忠定

襲裝束

御隨身八人

左

右

下毛野武村
下毛野武通

源武慶

下毛野武信

秦吉武

紀長房

源元清

藤原武次

御所作御筆

簾中

兵部卿宮

伏見貞清

琵琶

彈正宮

高松祐親

箏

御兒御所

伏見若宮

琵琶

簀子着座

閑白

左大臣信尋

箏

中山乃中將元親朝臣絃持泰

右大臣

一条兼遐

箏

東坊城長維朝臣絃持泰

前関白 九条忠実

内大臣 康道

左大将 鷹司教平

右大将 言忠家大納言

四辻中納言 季継

西園寺宰相 中将 実暗

右衛門督 西洞院時 篳篥

殿上人

言総 山科少将 篳篥

隆朝 櫛笥侍従 笛

箏同

笙 御笛 宮長 維朝臣

笛

笛 西坊城 遂長 弦

箏 持 泰

琵琶 同

篳篥

忠定 清水谷侍従

通式 久世少将 箏同

公根 少倉侍従 琵琶

公次 花園侍従 笙

在村 唐橋民部少輔 篳篥

座ノ末 赤板 攝江田 笙 鋪殿上人

ノ坐ト又

同方砌 赤板 攝江田 笙 敷地下樂

人坐ト又

地下樂人

不笛

拍近直

拍友久

拍近元

豐信秋

算策

拍近次

拍近光

鞞鼓

大鼓

拍直萬

拍友隆

拍近長

拍近慶

拍近弘

拍近益

拍近正

拍近益

拍近益

拍近益

鈺鼓

拍近益

恒代次第中門入舞人亦須知可信逆

兩庭中是云大倫當御座前東西作輪

是舞人六人輪臺外作輪海波序舞人在兩輪

內次一行平立

次舞終舞人亦須知可信巡迺前行前上

有下萬後二次數手

秦兼秋

秦兼定

秦廣光

秦兼護

次陵王

拍近元

舞終レ刻限御座ノ間西ノ方ニ衣菊

袴衣紅白推出サレ関白進ニ寄御簾ノ

下ニヲ手是ヲ取テ階ニ於テ舞人ニ賜

此舞人左ノ肩ニ掛一曲舞退ク次納蘓

利五中多忠辰門拍多忠清

舞終レ刻限右大臣録ヲ取テ階ニ於テ

舞人ニ賜レ袴紅葉衣一曲舞テ退ク今

一人ノ舞人樂屋ニ入レト欲レ取内大

臣召還ニ録ヲ賜莫右ノ如シ

次ニ左方舞終テ退出音聲

長慶子

次所役人管絃ノ具ヲ取

次入御次ニ下薦ヨリ退出

左ノ伶人笛

大神景福

拍近直

拍直葛

拍葛久

多忠俊

多忠直

望

拍友隆

拍近長

豐光秋

豐信秋

箏策

拍近次

拍近光

安倍秀為

鞞鼓

拍近弘

大鼓

拍近益

鉦鼓

拍近正

右人伶人笛

大神景福

秦昌辰

秦兼政

秦昌秀

箏策

安倍秀勝

秦兼次

秦兼清

秦兼元

安倍秀宗

多忠真

三鼓

秦昌忠

大鼓

秦廣賴

征鼓

秦兼信

今度襲裝束舞裝束悉ク新調也左右ノ

樂屋五間纈纈ノ幔ヲ引ク大文アリ纈

唐綾黒ト赤ト二色也舞臺地敷四方ニ

幔ヲ引ク

一 舞終テ御内々ニ於テ七五三ノ御膳宮
衆攝家衆前官ノ大臣小廣間上壇下ノ
間ニ於テ點待アリ七五三金銀ノ膳部
ナリ遂一ノ御膳金銀ノ臺ノ物養廉ヲ
尽ス

左座

八條宮

伏見宮

八條若宮

伏見若宮

西園寺

前右大臣

花山院

前右大臣

右座

関白

近衛左大臣

一条右大臣

高松宮

鷹司太閤

九條前関白

二条内大臣

右大將 鷹司

右大將 九条

右ノ座奉行

本多美濃守

小笠原右近大夫

給仕

三浦山城守

京極主膳正

戸田治路守

伊吹隼人正

内藤市正

柴田筑後守

田中主殿頭

小笠原壹岐守

佐久間河内守

神尾宮内少輔

以上十人 諸大夫

諸門跡 衆同小廣間下壇次ノ間々於テ
點侍アリ膳部臺ノ物以下金銀ヲ縷ル

左座九人

仁和寺門跡

大覺寺門跡

聖護院門跡

照為院門跡

梶井門跡

寶相院門跡

大衆院門跡

三室院門跡

丹滿院門跡

右座

竹内門跡

下乘院門跡

妙法院門跡

智恩院門跡

青蓮院門跡

隨心院門跡

勸修寺門跡

昆沙門堂門跡

右座奉行

松平下總守侍從

松平河内守四品

給仕

織田丹後守

小出信濃守

関兵部少輔

水野因幡守

山内伊豆守

竹中筑後守

横山土佐守

井上淡路守

本多將監

佐々木民部少輔

川勝信濃守

以上十三人 諸大夫

諸公家公卿殿上次ノ間真ノ間廊下ニ

於テ點侍アリ凡ソ百三十四人七五三

ノ膳部撰家同前但公卿ハ三方殿上人

以下非藏人ニ至テハ是折

座奉行 松平式部大輔

松平越中守

松平周防守

水野隼人正

岡部内膳正

以上五人

給仕

伊豆守

佐久間信濃守

堀田兵部少輔

森 左兵衛

赤井豊後守

朽木兵部少輔

本多丹後守

牧野主水正

岡部大和守

松平筑後守

柳川豊前守

松平日向守

三好越後守

酒井主膳正

松平備前守

東條紀伊守

仙石大和守

以上十七人 諸大夫

地下百六十余人 殿上下間ノ縁ニ於テ

點侍アリ 平折敷膳部七五三ナリ

馳走衆

木多飛彈守

戸田因幡守

丹羽式部少輔

杉原伯耆守

戸桐出雲守

谷出羽守

吉木民部少輔

蔭田權之助

溝口伊豆守

長谷川式部少輔

石河伊豆守

戸桐主膳正

以上十二人 但給仕ハ 馳走衆ノ家中ノ

侍烏帽子ヲ着シ 是ヲ役ス

公卿殿上人 諸大夫殿上人 上壇ノ同ニ

於テ 點侍アリ 膳部公家衆同前

座奉行

松平丹後守

水野日向守

戸田 左門

菅沼織部正

本多下総守

以上七人

給仕ハ御近習ノ内平侍肩帽子上下ヲ

着ニ是ヲ役ス

諸大名以下諸大夫衆便宜ノ間ニ於テ

點侍アリ膳部同前

座奉行

高力横津守

牧野駿河守

本多伊勢守

保科肥後守

堀 丹後守

溝口伯耆守

佐久間大膳亮

以上五人

給仕ハ御近習ノ衆ノ内平侍肩帽子上

下ヲ着ニ是ヲ役ス

舞以前宮攝家門品諸公家諸大名諸大

夫中振舞アリ座鋪並ニ奉行給仕同前

此七五三ノ引替中振舞兼テ是ヲ用意

スト云凡深更ニ及フニ依テ是ヲ出サ

一ノ...

一 同晚宮 褒撰家 褒門 諸家 褒地下 至
テ 各賜 モノアリ 或ハ 白銀 三千兩 綿衣
二十領 或ハ 二千兩 五千兩 五百兩 綿衣 十
領 五領 仁躰ニ 依テ 甲乙アリ 左 錦ニ 見
ニ 宮 褒公 家 褒ニ 御 太刀 一腰 漆ヲ
ル 共ニ 名 作 ナリ
一 當 晚 歌ノ 御 會 是 アル へ キノ 由 兼 日 治
定 スト 云 へ 氏 深 更ニ 及フ へ キニ 依テ
来 日ニ 延ラル

皇朝御覽

卷之四

皇朝御覽

